

流山市一般廃棄物処理基本計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

No.	該当ページ	該当箇所	ご意見等	市の考え方	案の修正
1-1		(総括的な意見)	今回の基本計画の中で、ごみ処理の施策が具体的に打ち出されたことは評価できます。一日も早い成果を期待しています。	貴重なご意見・ご提案等、ありがとうございます。一日も早く成果を出せるよう努力していきます。	なし
1-2	34	2) 家庭における水切りの徹底	水切りの徹底 家庭における水切りの方法を指導すべきです。 a 市の配布する容器。 b 市販のネット。 c 日光で乾燥。 etc. その効果は、イ. 焼却ごみの減量、ロ. 搬入経費の節減、ハ. 熱カロリーの上昇、ニ. 助燃剤の節約、燃焼時間の短縮とCO <sub>2</sub> の減少、行政と市民に対して大きな効果があることをはっきり知らせる。	本計画の個別施策「ごみ減量・資源化の啓発」に記載のとおり、「水切りの徹底」をはじめ、ごみ減量・資源化のための具体的な方法について、定期的・継続的に広報に掲載したり、ホームページ、イベントを活用したりするなどにより、ごみ減量・資源化に結びつくような情報を発信していきます。	なし
1-3	39	2) 分別方法の見直し	プラスチック類の分別方法の見直し 法令の改正に基づく a プラスチックの包装容器、 b 紙製包装容器の分別回収の実施。焼却ごみへの混入量が多く、大量に資源化できる最も重要なテーマ。 すでに他の市では分別回収が始まっている。 焼却ごみへの混入量を推計し、年度別に資源化率の向上を試算する。	平成15年4月から、プラスチック類については、市民のごみを分別することへの負担を考慮し、また、クリーンセンターのリサイクル館が稼働したことに伴い、資源化する「プラスチック製容器包装」と焼却処理する「その他プラスチック」を混合収集しています。収集したプラスチック類はリサイクル館で選別し、それぞれ資源化あるいは焼却処理しています。 しかし、分別方法に関し、プラスチック類の一部を結局は燃やすごみと一緒に焼却していることへの不満の意見が市民の方から出ていることなどから、本計画では、「平成24年度実施を目的に「プラスチック製容器包装」と「その他プラスチック」の分別方法を見直し、周知徹底を図った上で実施します」としています。また、資源化率については、本計画の資料編（資29、資30）のとおり予測しています。 なお、牛乳パックなどの紙製容器包装については、すでに資源ごみとして分別収集しています。	なし
1-4	39	3) リサイクル活動（集団回収）の促進	資源物回収の一元化 ペ・プ容器を除く回収の一元化は全く意味が不明。何を目的とするのか、どのような効果が出るのか説明が必要。	資源物回収の一元化の目的は、本計画に記載されているとおり、市民のリサイクル意識及びコミュニティ意識の向上です。 また、資源物回収は、行政回収及び集団回収が市内のほとんどの地区で混在しており、市民に分かりにくい仕組みになっています。このため、制度の簡素化を図れると考えます。 なお、ご指摘の「ペ・プ容器」とは、ペットボトル及びリサイクルするプラスチック製容器包装の略字です。これらは、集団回収になじまないことから従前どおり行政回収を継続します。	なし

1-5	42	1) バイオマス資源（剪定枝）の利用	<p>剪定枝の資源化</p> <p>チップの有効利用方法を考えたい。公共の処理、自治会等の集団回収処理、個人の処理等の回収の方法を明確にしたい。一般ごみ回収との分離を図る。希望者に対する分配方法を具体的に知らせる。枯葉や刈り取った雑草等の量も多く行政が回収して有効活用する方法を具体的に考えてほしい。</p>	<p>剪定枝から堆肥とチップを生成しますが、チップは防草材や公園、公共施設での活用を考えています。</p> <p>剪定枝は、汚泥再生処理センター内の剪定枝資源化施設に自己搬入していただくこととなります。その場合、一般の市民の方は無料で搬入できます。また、今後、より利便性の高い回収方法についても、平成22年度実施に向けて検討します。</p> <p>堆肥やチップの配布方法については、広報やホームページでお知らせします。</p> <p>枯れ葉や草には、砂やごみが混入しており機械の故障の原因となるため、現時点では受け入れることは考えていません。</p>	なし
1-6	48	V 地球温暖化防止への配慮	<p>地球温暖化への配慮</p> <p>具体性が乏しい。項目の羅列に過ぎず、この5年間に取り組む具体的な内容とスケジュールを組みたい。</p>	<p>本計画は廃棄物の発生の抑制のための計画であり、廃棄物の発生抑制が温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>を削減することとなるので、この計画の取組みやスケジュール全体が地球温暖化に対する具体的な対応と考えます。</p> <p>なお、焼却施設については、廃棄物の発生抑制や生ごみ水切りの徹底に加え、本計画48ページに記載した取組みを実施することにより、CO<sub>2</sub>を削減し、目標を達成できるものと考えています。</p>	なし